

海外進出支援プラットフォーム様_第2回ヒアリングレポート

令和3年度 輸出先国・地域における現地の体制強化委託事業 (海外展開に際して検討すべき現地の課題と対策にかかる情報整理及び 事業者への情報提供)

タイ

Nomura Research Institute Singapore Pte. Ltd.

NRI Consulting & Solutions (Thailand) Co., Ltd.

2022年12月



企業ヒアリングレポート | タイ | Thai Chim様

【免責条項】

本資料にて提供される情報については、生産者や事業者の方々のタイ輸出の一助となることを目的としているものであり、正確性、完全性、目的適合性、最新性を保証するものではありませんので、当該情報の採否は、ご閲覧者様ご自身の判断、責任において行ってください。なお、関係法令、制度等は調査時点以降改正されている可能性がありますので、実際のご検討の際には、各国等の関連機関に最新の情報をご確認下さるようお願いいたします。

Thai Chimはタイ事業の歴史を30年以上有しており、タイ国内及び日本向け顧客に製品販売を実施

Thai Chim 概要

項目	概要
企業名	Thai Chim Limited
業種	冷凍食品製造業
企業概要	- 日本の食品メーカー「大市珍味」の子会社として1989年にタイに会社を設立 - 湯葉・豆腐加工品を中心とした冷凍食品製造
タイ進出のきっかけ	- 大阪市内に湯葉工場があったが、下水処理の規制が厳格化される際に、改装を検討したところ、その費用が新工場設立と同程度の金額と試算されたため、海外進出を検討 - タイと中国の2か国が選択肢であったが、当時中国では天安門事件が発生したことを考慮しタイに進出
主要顧客	- 主要顧客構成は、タイ国内向け7割（レストラン、食品工場がメイン）、日本向け3割（おせち等の最終製品として販売） - 来年からインドネシア向け輸出事業を追加予定



タイ展開ポイント

良い点

- 道路、電気、ガス、インターネット等、殆どのインフラが安定している
- 工場進出を同時並行で当時検討していた中国に比べ、製造関連の規制が厳しくない

留意点

- 労働者不足で、人材不足に直面するケースが存在

関連市場情報



ハラル製品：新たな事業チャンス

- 日本のハラル認証ではインドネシア向けに輸出が困難であるが、タイのハラル認証の場合はインドネシア向け輸出が可能であるため、タイを生産・輸出ハブに位置付けることが可能

大豆品種の改良：将来の希望

- タイ産の大豆はタンパク質が少ないこと等が課題となり、食品への適用が困難
- タイ市場にある大豆の殆どは輸入品であり、タイ産大豆の品質が改良され、タイ国内調達ができるようになること



事業展開における課題として、原材料の調達、水の管理、人材確保・育成、市場の競争、新製品の営業が挙げられ、様々な取り組みが行われている

事業展開における課題

取り組み／解決策

原材料の調達	- 基本的にはタイ国産の原料を使用したい意向があるものの、品質面で課題を抱えている。タイ産大豆はタンパク質が低く、保存の状態が良くないため、砂・カビ等の対策として、工場で仕分けが必要 - タイ産の課題は数が集まらないこと、及び品質のばらつきが多いこと	- 主要原材料の大豆は、品質を考慮し、カナダ・アメリカから輸入 - ニンジン、玉ねぎ、ブロッコリー等野菜の調達は中国がメイン - 季節によって必要な原材料が調達できない場合は、他の材料で代替
水の管理	- 雨季になると水道水の中に泥が混入し赤い水がでるケースが発生 - 加えて、タイの水道水はカルシウム分が多い硬水であることから、食品製造、ボイラーには不適	自社で浄水、軟水化装置設備を設置
人材確保・教育	- 現在労働者不足に直面しており、常に10-20名は不足している状態 - タイ人ワーカーは定着率が低く、一年後の雇用継続は10名採用した場合、その内、3名程度に留まる - 今後、インドネシアへの輸出事業拡大を実施するには更なる人材が必要	- タイ人幹部は、コミュニケーションの問題から外国人労働者採用よりもタイ人採用を優先したい傾向ではあるが、労働者不足の深刻化により来年は外国人労働者の雇用を計画している - 教育期間が短い場合、スタッフが業務についていくことができず、離職するケースに繋がっていたため、現状では教育期間を延長することでスタッフの定着率向上を図っている
市場の競争	タイでは豆腐関連製品（豆乳、丸いチューブに充填した豆腐）の大手現地企業が存在するため競争環境が厳しい	使いやすさ等、価格以外の面で差別化を検討している
新製品の営業	- 野菜系の介護食品が最近日本向けの輸出として増えているが、タイでは認知度が低い - タイは介護施設・病院にいる高齢者が少ないため、在宅の場合はあまりニーズが低い	展示会においても介護食品に関心を持たれるケースは限られているため、今後の営業課題となっている